

こおりやま広域圏移住体験ツアー2025夏

「地場産物の美味しさを味わうツアー！」

三春町・田村市・小野町コース 6月28日(土)～6月29日(日)

<1日目>

郡山駅集合(9:50) ➡ 三春町自然観察ステーション(オリエンテーション・移住者のお話)
➡ 三春の里 田園生活館にてランチ ➡ アウトドアヴィレッジ三春で散策・お買い物
➡ 廃小学校を活用した施設・テラス石森の見学 ➡ 緑とのふれあいの森公園にて自然体験
・地域の方とBBQ交流会 ➡ 天体観測 ➡ 宿泊施設 (星の村ふれあい館)

こおりやま広域圏移住体験ツアー 夏コースの第1本目は、
郡山市から車で30-40分の位置にある、三春町・田村市・小野町 で開催されました。

朝 9:50 郡山駅西口、様々な地域から今回の参加者が集まり、ツアーが始まりました。
1泊2日で、ご家族を含む 計5組9名 の方がツアーに参加しました。



ツアー開始時バス車内の様子

○三春町

三春町自然観察ステーションにてオリエンテーション・地域紹介・先輩移住者のお話

まず最初の行程は三春町自然観察ステーションにて、ツアー参加者同士の自己紹介をし、三春町役場の澤田さんと、三春町初の地域おこし協力隊として活躍する佐々木宏樹さんにご登場いただき、地域の紹介をしていただきました。

三春町の暮らしやすさや魅力を丁寧にご紹介いただき、より理解が深まりました。

佐々木さんは映像制作の経験を活かし、現在はInstagram「みはるぐらし」を運営し、移住者のサポートを実施しているようです。



オリエンテーション時の様子

○三春町

三春の里 田園生活館 里の茶屋にてランチ

三春町の紹介の後は、三春の里 田園生活館 里の茶屋にてランチタイムを過ごしました。古民家をリノベーションした茅葺き屋根が特徴のお店で、美味しいわっぱ飯セットのランチを味わいました！

メニューは、わっぱ飯の五目御飯、けんちん汁、三角油揚げの味噌付け、凍み餅など、美味しい福島郷土料理でお腹いっぱいになりました！



三春の里 田園生活館 里の茶屋での様子

○三春町
アウトドアヴィレッジ三春の見学

ランチ後は今年4月にオープンしたばかりのアウトドアヴィレッジ三春を散策しながら、三春町の自然を感じていただきました。緑豊かな自然があふれ、阿武隈川から流れる水や、珍しいフレーバーが多く並ぶジェラート屋さんなどを楽しみました。
当日の気温は30℃近くまで上がり、夏の気配を感じながら散策を楽しみました。



アウトドアヴィレッジ三春・三春の里 田園生活館での様子

○田村市
廃小学校を活用した施設 テラス石森の見学

つづいて、田村市にあるコワーキングスペース テラス石森 の見学に行きました。
旧石森小学校を活用して作られたテレワークセンター兼シェアオフィスで、様々な企業がシェアオフィスとして入っています。田村市役所の渡辺さんより地域の紹介を、テラス石森の従業員の方に施設の紹介をしていただきました。



テラス石森での様子

○小野町

緑とのふれあいの森公園にて自然体験地域の方とBBQ交流会

15:00 小野町にある緑とのふれあいの森公園に到着しました。

ここでは、小野町役場の渡邊さんに地域の紹介を、先輩移住者 古崎泰介さんに移住後のお話を伺いました。「小野町は子どもの数が少なく、1学年40人程で中学校卒業まで一緒に成長できるところが、小野町のいいところの一つだ」とお話してくれました。

このころには参加者同士の会話も生まれ、和気あいあいとした雰囲気になっていました。



ユニークな形の森の体育館でお話を聞く様子

お話のあとは、NPO法人 小野自然倶楽部 の大方さんより、体を動かして楽しむ自然体験アクティビティの実施と、BBQ交流会を行っていただきました。

自然体験では2つのアクティビティを実施しました。

1つ目のアクティビティは、かつて木を伐採して運ぶために使用されたワイヤーを使ったワイヤースライダーを体験しました。2つ目のアクティビティは、自然の中で植物や珍しい生物を写真に収める、ビンゴゲームを楽しみました。景品も用意されており、皆さん熱中して取り組んでいる様子でした。



自然体験アクティビティの様子

大人も子供も精一杯体を動かした後は、皆さんお待ちかねのBBQ交流会を実施しました。福島県産の美味しいお肉やお米、豚汁などを食べながら、キンキンに冷えたビールと共に先輩移住者や自治体の方々みなで時間を過ごし、あっという間の2時間を過ごしました。



BBQ交流会での様子

○田村市 星の村天文台にて天体観測

BBQ交流会の後は星の村天文台に移動し、天体観測を行いました。
星の村天文台は福島県内最大級の反射式天体望遠鏡で天体観測をすることができます。
当日周囲はまだ明るさが残っていましたが、一等星のレグルスと月を観察できました。
短い時間でしたが、参加者からは「実際に月や星を見ることができて、貴重な体験になった」や「月のクレーターが美しかった」との声をいただきました。
小野町の夜空と自然の魅力を存分に感じることができました。



福島県内最大級の反射式天体望遠鏡

○田村市
宿泊施設 (星の村ふれあい館)

1日目の行程がすべて終了し、宿泊施設 星の村ふれあい館 へチェックインしました。
大浴場もあり、皆様ゆっくり時間を過ごされたようです。その大浴場からは紫陽花を見ることができ、「紫陽花の青色の綺麗さに驚いた」という声を参加者からいただきました。

<2日目>

宿出発(9:00) ➡ あぶくま洞の見学 ➡ 福福堂で料理体験・ランチ・移住者のお話
➡ トレーラーハウス(cafe きっち) でカフェ経営をする移住者のお話
➡ 農産物直売所 おのげんきでお買い物 ➡ 郡山駅(16:00頃)

晴天の中、2日目が始まりました。清々しい朝の涼しさを感じながら宿周辺で朝活を楽しむ参加者も多く、皆さん朝から元気な様子です。

○田村市 あぶくま洞の見学

2日目最初の行程は、日本有数の鍾乳洞である あぶくま洞 を見学しました。朝からジリジリとした暑さでしたが、鍾乳洞に入ると、まるで冷蔵庫の中に入ったかのような涼しさを感じることができました。中に進んでいくと整備された道がありながらも、狭く天井が低い場所や水たまりが広がっている場所などもありました。ガイドの方から詳しい鍾乳洞の説明をしていただき、参加者はその自然が作り出した神秘さに圧倒されている様子でした。



あぶくま洞での様子

○田村市

福福堂でブルーベリー狩り・料理体験・ランチ・移住者のお話

あぶくま洞を探検した後は、お楽しみの農業体験へ向かいます。

田村市の先輩移住者 稲福由梨さんが運営する「福福堂」で、ブルーベリー狩りに挑戦しました。ちょうど食べごろを迎え始めたばかりのブルーベリーは、どれも美味しく、「甘い！」「美味しい！」とあちこちで声が上がりました。新鮮な味をその場で味わえるのは、収穫体験ならではの良さになります。お土産用のタッパーも夢中で摘み取り、いっぱいになったタッパーを持って喜んでいる様子が伺えました。

収穫体験を楽しんだ後は滝根公民館へ移動し、福福堂の商品を使用した料理体験を行いました。元管理栄養士、そして調理師の稲福さんご指導の下、みんなで協力して作ったお昼ご飯は優しい味わいに仕上がりました。

料理体験で使った福福堂の商品はどれもおいしく、「今度は購入したい！」という声を多数聞きました。中には「お母さんのファンになりました！」という参加者もいて、参加者の満足度が高い行程となりました。また、ツアー参加者の姉妹と、稲福さんの娘さんがまるで三姉妹のように仲睦まじく、ほほえましい交流も見られました。



福福堂での様子

○小野町

トレーラーハウス(cafe きっち) でカフェ経営をする移住者のお話・直売所でお買い物

楽しかったツアーはまもなく終盤となり、最後は小野町にあるトレーラーハウス cafeきっちに移動しました。ここでは今回最後にお話を伺う、先輩移住者の柴原希伊さんにお話していただきました。

柴原さんは昨年11月に小野町に引っ越し、今年の3月に「cafeきっち」をOPENしました。柴原さんのお父様と二人三脚で営むこのカフェは、小野町の食材をふんだんに使用し、こだわりがたくさん詰まっています。このトレーラーハウスは、町が所有する施設ですが、町内で特産品や6次化商品の開発・販売に挑戦する個人や団体を支援するため、1年間という期間限定で貸与しています。

当日はこだわりの米粉クッキーと美味しいドリンクをいただきながら、柴原さんのお話を伺いました。移住を決めたきっかけからカフェ経営に込めたこだわり、そして移住の「いいところ」や「大変なところ」等も包み隠さずお話してくださり、参加者にとって大変参考になる時間となった様子です。



cafeきっちでの様子

cafeきっちで時間を過ごした後は、隣にある直売所 おのげんきで各々にお野菜やお土産を購入し、郡山駅まで戻りました。

郡山駅に向かう最後のバス車内では振り返りを行い、参加者からは「人とのつながりを感じることができた」「自然豊かな環境で、生活も仕事もできたらうれしい。」といったご意見をいただくことができました。



あっという間の2日間でしたが、今回のツアーが再度 三春町・田村市・小野町を訪れる
きっかけとなればうれしく思います。